

農作業事故、仮想現実で体験

安全研修会で最新技術VRを活用

ゴーグルを着けて事故映像体験



ト体験を発表し、農作業中の危険性を共有した。研修の終了後には「自分自身が気付かなかった危険について知ることができた」など

山梨県農業技術課が主催

【山梨】県農業技術課ではこのほど、VR（仮想現実体験）を使った農作業安全研修会を開いた。

安全研修会ではこれまで、年に複数回、トラクターや刈払機の使用方法などを実演してきたが、VRの利用は初めて。参加者はゴーグルを装着し、VRで農作業事故を体験することで作業にともなう危険を理解した。また、自身のヒヤリハッ

の声が聞かれた。

講師を務めた農研機構の紺屋朋子上級研究員は「講義を聞くだけでなく、VRやグループ討議を組み合わせたことで、受講者も積極的に改善目標を考えてくれた」と手応えを感じていた。県の研修担当者は「今後も記憶に残る新しい手法の研修を実施し、農作業事故の未然防止に取り組んでいく。農家にはより一層安全を意識して農作業に取り組んでもらいたい」と力強く語った。

NATIONAL
AGRICULTURAL
NEWS

新聞

全国農業

2023年(令和5年)

2月3日 金曜日
月4回金曜日発行

関

東